

京大東南ア研・清水展教授 タイ人、在留邦人70人が聴講

京都大学東南アジア研究所前所長で同大教授の清水展（しみず・ひろむ）さん（65）が20日、バンコク都内のトークイベントで、戦後の日本社会で独特の存在感を放った神奈川県横須賀市出身の歌手・女優の山口百恵さんと小泉純一郎元首相の活躍について考察した。国際交流基金バンコク日本文化センターの主催で、タイ人や在留邦人など約70人が耳を傾けた。

（小沢 啓子）

清水さん自身の郷里で 敗戦後ずっと米海軍基地もある横須賀市は日本の が存在し、「戦後の日米

関係の中で、基地の存在は地元住民の意識に大きな影響を与え続けた」と時代と社会背景について解説した。

そしてタレントとして一世を風靡（ふうび）した山口百恵さんと、「小泉劇場」と言われ、日本の政界に新しい風を送り込んだ小泉元首相には

離れていない首都東京は芸能界や政治の世界でも華やかな中心ではあるものの、「そこで繰り広げられているのは『見せかけのゲーム』にすぎないと、どこか冷めた目で見つめるニヒルな視点が共存していたとみられる」と持論を展開した。

聴講したタイ人からは

横須賀から見える戦後日本

「共通点が見られる」と「山口百恵さんはほかの指摘した。「それは表舞台で見せた輝きと対照的な私生活での暗さ。ともに現役引退後は表舞台からさっぱり身を引いたところに注目すべきだ」との見方を披露した。

「今聴いても色褪せない」などが上がった。

今回のイベントは日本文化や社会について一歩踏み込んだ理解をタイ人にしてもらうために同センターが独自に企画したトークシリーズ「J-Talk Diggin' Culture」の第1回目。



「山口百恵と小泉元首相は日本を大きく変えた2人」と話す清水教授 20日撮影